

キリストのような教師となるために：

自己評価

以下に挙げた、効果的に教えるための原則についてよく考えてください。改善できると思う分野に関して、何を行うよう促しを感じるか空欄に書きましょう。

1. 学び、積極的に参加したいという謙遜な望み ^{けんそん} を抱いて教師評議会集会に参加します（教義と聖約 112：10 参照）。	
2. 学び手としても教師としても助けを ^{みたま} くださる御霊から受けた印象を普段から記録しています（教義と聖約 76：28 参照）。	
3. レッソンの準備は、遅くとも1週間前には始めます（教義と聖約 88：118 – 119 参照）。	
4. 教えずぎたり、話し合いに任せすぎたりせずに、教師の話とクラスの話し合いのバランスを適切に保っています（教義と聖約 88：122 参照）。	
5. 神の手に使われる者となれるよう、御霊を熱烈に祈り求めます（教義と聖約 42：14 参照）。	
6. さらに啓示を受けられるよう、レッスン資料や外部資料を読む前に、時間を取って聖句ブロックについて深く考えます（教義と聖約 42：61 参照）。	
7. クラスの生徒、特に青少年が、福音を学ぶだけでなく、より有能な教師になれるよう助けます。彼らが将来よりよい宣教師、指導者、教師、親になれるようにするためです（教義と聖約 88：77 参照）。	
8. クラスの生徒一人一人の名前を挙げて祈ります（ルカ 22：32 参照）。	
9. クラスに出席しない人たちに手を差し伸べます（ルカ 15：1 – 7 参照）。	
10. キリストのような教師になるうえで最も大きな課題は何でしょうか。また、どのようにその課題を克服できるでしょうか。	

さらに掘り下げた評価をするには、『救い主の方法で教える』37ページの自己評価を参照してください。